

MANUIA

青年海外協力隊
サモアOB会会報 Vol.8
発行責任者：大塚一雄
編集者：新井克芳
2008年6月発行

サモアOB会会長挨拶

第5回総会において2期目の会長を務めさ

せて頂くこととなりました、大塚 一雄 (S63/3 沢ノミヅコ) です。2年前の就任時には、北は北海道から南は沖縄まで全国津々浦々にいるサモア関係者の点を線でつなぎ、それを面に広げ、サモア関係者相互の親睦を図り、サモアの広報及びサモアとの親善に寄与することを目標に掲げ、各種イベントへの参加、新隊員壮行会の開催や会報作成などの活動をこの2年間新役員と一緒にこなしてきました。これら活動を通じて多く



の方へのサモアの紹介や関係者相互の親睦を深めることが出来たのではないかと思います。一方、点を線でそして面ということについては引き続き課題として努力していきたいと考えています。今年度の活動も基本的には従来を踏襲しますが、1.特にイベント参加では人とのふれあい(Face To Face)を大切に「ぬくもりを感じる」ような広報を行い一人でも多くの方にサモアを

してもらおう。2.サモアの最新情報発信や関係者間での情報共有のため当OB会ウェブサイトやサモアMLの活用はもとより現地JOCVやSVとの情報交換のための関係構築を積極的に行う。3.新しい方の当OB会への参加を促し、世代交代を図る。の3点を基本方針として、今後も当OB会が中心となり日本におけるサモアの広報の拠点として、またサモア関係者の親睦及び情報交換の場として長く活動していければと思います。そのためには一人でも多くの方のご協力・ご支援をいただければと考えております。また昨今、企業の不祥事が多く発生し、コンプライアンスが叫ばれて久しいですが、当OB会でも皆様方からお預かりした会費や助成金などを管理している関係から、特に経理面では適正な処理を行うと共に関係情報のディスクロージャーをしっかりと行い、皆様方の信頼を裏切らないよう適切かつ透明性を確保しながらサモア及び関係者皆様方のために活動を行っていく所存です。【大塚 一雄】

第一回協力隊祭開催！！

2007年4月19日(土)と20日

(日)とで第一回「協力隊まつり」が開催されました。主催はJOCA。場所はJICA「地球ひろば」にて・・・それは何てことない、旧広尾訓練所のことです。平成6年度2次隊以前のOB・OGにとっては、とても懐かしい場所でのイベントとなりました。さ

て、我がサモアOB会は、毎年開催されている日比谷公園での「グローバル・フェスタ」に出展するのと同じような感覚で登録参加し、リピーター絶賛のサモアのおやつ「パンケケ」を1串3コ100円でご来場いただいた方々に販売しました。また、特別に Tina 藤原さん率いるサモアダンス集団「サモアナサモア」によるシヴァの余興なども織り込み、会場に南国サモアの風を吹かせ盛り上げることができました。(ちなみにこのときのシヴァの写真が第2回協力隊まつりのパンフレットに掲載されています。)今回は初回ということで、主催のJOCA側でもかなり手探り的な状況のまま開催を迎えてしまったことは否めません。しかしながら今後このイベントが定着し、協力隊の認知度が向上することを期待します。読者の皆様がこれをお読みになる頃にはすでに第二回の「協力隊まつり」を終えていることでしょうか。春の「協力隊まつり」そして秋の「グローバル・フェスタ」と、しばらくはこの二本柱でOB会の主たる活動を続けていく予定です。そこで読者の皆様にお誘いです。是非これをきっかけにして、OB会の活動に関わってみませんか？共にサモアのあの美しい夕日と海、過ごした時間とその記憶を共有できる仲間として。【澤井慶太】

第5回サモアOB会総会及び懇親会開催

2007年7

月14日(土)、広尾のJICA地球ひろばにおいて、第5回青年海外協力隊サモアOB



会総会及び懇親会が開催されました。そう！名前は変わりましたが、この「JICA地球ひろば」こそが平成初期の隊次までが派遣前訓練をしていた広尾訓練所です。1部屋20名前後の「たこ部屋」状態でのプライバシー無しの約3ヶ月にも及ぶ「共同生活」。そして3度3度の食事と訓練着姿での毎朝のマラソンという規則正しい生活。マラソンでは通勤途中のサラリーマンやOLの方々を尻目に広尾商店街を駆け抜けるのはさすがにはずかしかった。そんなこんなでたくさんの思い出が詰ま

った場所です。さて話が飛んでしまいましたが、当日は、台風が接近していることもあり、あいにくの雨でした。ちなみにサモアを襲った「ハリケーンOfa」(1989or1990)



を経験した者にとってはちょっとやそっとの台風では驚きません。またまた話が脱線しましたが、約20名ほどのサモア関係者が各地から集まりました。定刻を少し回ったところで司会の新井さん(S63/1 電話交換機)より開会の宣言がなされ、大塚現会長からの挨拶、

引き続いて議長(大塚 S63/3 システムエンジニア)、副議長(山本 H9/3 技術科教師)及び書記(澤井 H6/2 音楽)の選出が行われました。そして「事業活動」、「会計報告」、「監査報告」、「事業計画」、「役員改選」などの各審議事項では参加者から様々な意見が出されるなど

活発な議論が繰り広げられました。最終的には、定刻をオーバーして閉会することとなり参加者の当OB会に対する熱い思いを感じた総会でした。そして総会終了後、OBのご家族や懇親会からの出席者も加わり、総勢25名弱でJICAカフェフロンティア(元食堂の場所におし



ゃれなレストランが出来ています。)で懇親会が開催されました。冒頭、山本副会長(H9/3 技術科教師)からの挨拶があり、それに続き元OB会会長徳山さん(S61/2 理数科教師)の乾杯の音頭の後、懇親会がスタートしました。多くの方がそれぞれ久しぶりに会うということで、そこかしこで梅雨空にもかかわらずサモア談義の花が咲き乱れ盛り上がりました。また途中、参加者による近況報告(OB会ウェブサイト動画でご覧いただけます。)がなされました。時代を超えての再会本当に楽しいひと時を過ごすことができました。

【大塚 一雄】

グローバルフェスタ JAPAN 2007

今年度もやってきました、恒例の一大イベント・グローバルフェスタ。当日もさることながら、例年苦



労するのがスタッフ集めです。ここ数年手伝っていただいている「空手家」の皆さんは秋の強化合宿と重なり、今回は無理とのこと。MLやロコミでの呼びかけも今ひとつ効を奏せず、今年は役員のみで休みなしのフル回転か・・・とあきらめかけていました。ところが、まことにおもしろいもので、今回は全く予期しないところから立候補の声が挙がった。



前回手伝ってもらった大阪府の空手家・庄司さんがその時の様子をブログに書き、それを読んだ途上国問題を研究している一人の女性を見つけ、ぜひ手伝いたいと申し出てくれました。そしてその女性、稲田さんが友人の松野さんを連れて駆けつけてくれました。まさに情報社会のうれしい驚きです。サモアに行ったこともない方々が、このような形で仲間になってくれ、サモアに関心を持っ

てもらえるようになることは、本当にうれしいことです。こうして今回も力強い助っ人を得、また例年のように藤田OB・薮内OGのパンケケ、清水OB・大塚Jr.のセールス、澤井OBのプレゼン、山岡・河野OGのシバも益々冴えを見せ、てんてこ舞いの中にも笑いあり、感動あり、二日間を楽しく無事に乗り切ることができました。陽となり影となり協力してくれた方々、わざわざ顔を出してくれた方々には、本当に感謝いたします。紙面を借りてお礼申し上げます。最後に毎回、準備期間と本番の二日間は目が回るような忙しさですが、何もにも代え難い大きな達成感があります。2007年度は8万人もの入場者を迎え、年々盛り上がりを見せるグローバルフェスタの中で、リピーターも多く、一つの「顔」にもなりつつあるサモアブースです。これからも応援よろしくをお願いします。

(2007年10月6, 7日 日比谷公園)

【山本 耕司】

四街道市民祭参加

2007年11月3日(土)に開催された千葉県四

街道市の市民祭において、国際協力の活動を紹介するコーナーが設けられ、サモアOB



会からも応援に行ってきました。シニアボランティアの方々が企画し、サモアについては影山SV(H9 業務調整)が取り纏めるブースにて、伝統舞踊であるSIVAの紹介をする時間をプログラムに組み込んでいただきました。持ち時間は午後1時からと2時からの各15分ずつ。

「15分間のSIVA」とひとことで言っても、初めての試みです。現地披露するまでにはとても長い道のりでした。まず最も難しいのがメンバー集めです。当日千葉県に行くことが可能で協力してもらえる人を電話やメール等で

一人ずつ地道に当たったところ、愛知万博のサモアデーでも踊ったことのある、SIVAのベテラン新井、笹野両OG、およびサモアの曲をよく知る澤井OB、山岡OBの奥様が依頼を引き受けてくれました。それからサモアの曲を入手、SIVAに使う曲を選曲し、ダンスを組み立て、全員のスケジュールを調整して練習し、さらに衣装についてはサモアからの生地調達、採寸・縫製まで、一つ一つ知り合いを頼り、ぎりぎりまで時間を費やしました。他にも市民祭側との打ち合わせ等、紙面に書ききれない苦労がありました。そして当日、会場いっぱいのお客様の真ん中で、いよいよ私達の手作りのSIVAが披露されました。この日のためにヒデさんがサモアから送って下さった布で作った衣装はとても映え、SIVAを印象的なものにしてくれました。また手作りの花やレイをつけた四街道市の委員の方々が一緒に踊って盛り上げてくれ、ボーイスカウトの男の子達は照れながらサモア語で掛け声をかけてくれました。一般の方はサモアダンスを見るのが初めてで、大変興味を持たれているようでした。踊っている最中の私に「これはフラダンスとはちがうの?」とか「冬はさむくないの?」と聞きにくるといった場面もありました。苦労した甲斐があり、四街道市の皆さんにはサモアを身近に感じてもらえ、私達にとっても楽しいひと時でした。あらためまして、ご協力いただいた方々どうもありがとうございました。メンバー：新井 陽子 (H13/1 音楽)、笹野 瑞希 (H13/3 感染症対策)、澤井 慶太 (H6/2 音楽)、河野美和 (H10/1 臨床検査技師)、山岡ロテリニ



【河野 美和】

ロータリークラブでのサモア紹介 2007年11月26

日(月)、「サモア ～常夏の島 楽園～」と題したプレゼンテーションを行ないました。ところどころの有名な「帝国ホテル」です。この話の発端は、一昨年11月下旬にサモアMLで関係者の丸山さん(在サモア在住理恵子さんのお母様です。)から同氏が活動されている「ロータリークラブ」(※活動の一環として同ロータリークラブでは、サモアに対する支援を行っており、昨年はサモア語の本を送られたそうです。)の定例会でサモアのプレゼンができる方を探すメールが流れました。そして当OB会がそのプレゼンターをお引き受けすることとなりました。当日は、丸山さんを含めて約40名強の紳士・淑女の方々が集まりました。冒頭で当OB会の設立趣旨や活動内容の説明を行なった後、本題のサモアの紹介に入りました。



ほとんどの方がサモアをご存知ないということなのでサモアの位置や行き方と言った、サモアの基本情報(人口、首都、言語、宗教などなど)、さらにはサモアの「衣」・「食」・「住」。「衣」ではサモアの伝統衣装である「ラバラバ」の紹介、「食」ではウム料理、「住」では柱の上に屋根が乗っかっている「ファレ」、そして「めずらしいサモア文化」として、「アヴァの儀式」、「海での洗濯・入浴」、「受刑者の週休二日制」などを画像や映像を通じて紹介しました。日本とかなり文化が異なるので皆さん興味深そうに見ておられました。慣れないプレゼンでありましたが、丸山さんからは皆さんサモアに興味を抱かれたとのコメントも頂きました。面目躍如です。丸山さんをはじめとする関係者の皆様ありがとうございました。

【大塚 一雄】

新SV壮行会 & 忘年会 2007年12月23日(日)、新宿某

居酒屋において新SV壮行会及びサモアOB会忘年会が開催されました。以前はJOCVの壮行会を行っていたのですが今回はJOCV新隊員がいなくてSV3名ということで、SVのみの壮行会となりました。何と、今回からはJOCVとSVが合同で2か月半の訓練を一緒に行ったそうです。20代前半の若者と60代の年配者とと一緒に訓練を行うとは想像しがたいですが、世代の壁を越えて楽しく訓練を行っていたようです。今回は3名中2名が遠方なので参加できず、1名のみ参加下さいました。参加下さったのは川野善道さん。職種：気象 サモアの気象局に派遣予定。SV連続3回目、1回目スリランカ 2回目はドミニカ共和国へ赴任されていたそうです。SV参加前は某協会にお勤めで、第二の人生として国際協力の道を選ばれたそうです。今回の壮行会は、SV、JOCVのOB、及びサモア舞踊親善大使のティナ藤原さんと多彩なメンバーが集まり、楽しく壮行会&忘年会を行うことができました。川野さんは早くも帰国後はサモアOB会に参加され、活動を手伝ってくださると約束して下さいました。2年後に再び酒を酌み交わすのが楽しみです。おっと、



その前にサモアでVailimaを酌み交わすことができればもっとよいのですが。川野さん及び他の2名のSVの方が今後サモアで大いに活躍されることを願っております。平成19年サモアOB会の活動色々ありました。皆様お疲れ様でした。平成20年も大いに楽しんでまた皆様でおいしい酒を飲めればと思います。参加者一覧・新SV：川野善道(新SV 気象)OB会：鈴木明夫(SV)、影山洵(SV調整員)、大塚一雄(S63-3ツブミツゴア)、山崎義行(S62-1)、澤井慶太(H6-2・音楽)、清水幹雄(H6-3・数学教師)、ティナ藤原(サモア舞踊親善大使)

【清水幹雄】

平野児童館

2008年2月9日(土)、東京都江東区にある児童館に通う

子供たちにサモアについて紹介する機会がありました。外国人が多く居住するこの地域の子供たちに、世界のいろいろな国々を知ってもらうために、児童館の先生が国を選定して関係者に紹介してもらっているようです。OB会として児童を対象にした紹介は、初



めてで、不安な部分もありましたが、クイズや、歌や踊り、自分で作ったパンケケを食べる参加型のイベントとしました。児童館の生徒と同世代の子供を持つ役員の事前リサーチも功を奏し、大成功のうち終えることができました。これから日本の将来を担う子供たちに、サモアのみならず世界に興味を持ってもらうきっかけになれば

と思います。今後もこのようなイベントがあれば是非参加していきたいと思っております。

【新井 克芳】

2007年度収支報告

本年度も皆様から会費のご支援をありがと

うございました。サモアOB会の一大会と云えば秋に開催されるグローバルフェスタでしたが、今年度から春に開催される協力隊まつりが加わり二大会となりました。それにより金銭的な負担も大きくなりましたが、その一方でサモアのことを多くの方々に知っていただく機会が増えました。今後も様々なイベントへの参加や会報の作成などを通してサモアの広報および親善活動に役立てて参りますので、どうぞご支援をよろしくお願い申し上げます。

【坪井 美香】

【2007年度暫定収支】

収入		支出	
繰越金	691,531	OB、関係機関等への通信費	46,485
会員年会費	56,000	JOCA年会費	30,000
協力隊まつり参加助成金	10,320	イベント(グローバルフェスタ等)経費	147,775
イベント(グローバルフェスタ等)収入	146,062	印刷費	36,520
その他(寄付等)	3,000	雑費	25,983
計	906,913	計	286,763

編集後記

日本人であると胸を張って言いつらくなってきました。サモア人はどんな目で私達をみているのでしょうか。でも、今日もブルメリアは綺麗に咲いているのでしょうかね。

H10-1 臨床検査技師 河野 美和

先日3/1に赤坂区民ホールで開催された世界舞踊祭にTina藤原さん率いるサモアンダンス集団「サモアナサモア」で出演しました。日本人だけのシヴァでこれほどの舞台って他にはないんじゃないでしょうか。願わくば協力隊のOB・OGたちに是非助わっていただきたいものです。 H6-2 音楽 澤井 慶太

今年は教室形式でのサモアの紹介を数回行いましたが、屋外イベントとはまた一味違った紹介が出来、それはそれで結構おもしろいものがありました。

S63-3 システムエンジニア 大塚 一雄

私事ながら、役員の任期途中で豪州に行くことになり、大変申し訳なく思います。サモアOB会は皆さんおおらかで、集まりのたびに“Faa Samoa”を思い出させてくれ、雰囲気が好きでした。できることは限られますが、これからも遠い空の下よりお手伝いさせていただきます。 H9-3 技術科教師 山本 耕司

サモアから帰国して10年少々たちました。そろそろ仕事やめてのんびりと南の島めぐりをしたいなあ、などと考えております。 H6-3 理数科教師 清水 幹雄

今回の記事にもたびたび登場して下さったOB会の頼れる助っ人、山岡ロテリニさん。Teine Samoa はいつもパッと花が咲いたようにイベントを盛り上げてくれます。ロテさん、いつもありがとう! H9-1 家政 坪井 美香

将来の日本を担っていく子供たちにサモアを知ってもらう機会が、益々増えるといいなあと思っています。 S63-1 電話交換機 新井 克芳

サモアOB会会報は、年一回発行しております。

会報・当OBに関するご感想・ご意見などをお待ちしております。

OB会役員宛メール samoa@fafetai.net (OB会役員のみが届きます。)

OB会メーリングリスト yailima-fafetai.net@fafetai.net

(サモアOB会会員150名以上に届きますので、送信の際には内容などを十分ご確認ください。下さいますようお願いいたします。なお、使用に当たりましては以下をご覧ください。

<http://www.fafetai.net/top-contents/samoa-ml.htm>